ファイルの書き出し(レンダリング)

ミキサーでのバランス調整が終わったらあとはファイルに書き出してみましょう。メニューバーの"ファイル"→"レンダリング"を選択してください。

<u>「出力ファイル</u>という欄から、<u>"参照"</u>で保存先を選択することができます。 "WAVビット深度 "は"16bit "にし て <mark>アレンダリング "</mark>をクリックするとファイルが書き出されます。

プラマイルへレンダリング
レンダリング設定
サンブルレート: 44100 🕞 HZ 🔿 Mono 💿 Stereo
再サンプルモード: Higher Quality (Dubic w/ Big Antialias - SLOW) 🚽
● プロジェクト全体をレンダリング 〇 選択範囲をレンダリング 〇 数値指定:
站点: 0:00.000 終点: 0:12.929 長冬: 0:12.929
.wav 参照
▼ マスターミックスをレンダリング
◎ 終了後新しいトラックヘアイテムを追加する
出力ファイル形式: WAV file output
WAVビット深度: ④ 16 bit 〇 24 bit 〇 32 bit floating point
レンダリングキャンセル

また、「出力ファイル形式」から保存する形式を選択することもできます。通常はWAV fileでいいと思います。

あとはiPodに入れるなり、CDに書き込むなり、ネットに公開するなどしてください!

以上、REAPER初心者用解説でした。

読みにくく、わかりにくかったと思いますが、読んでくださった方、ありがとうございました。